平成27年度　目標管理シート （課別組織目標）

課かい名	下水道建設課	課かい長名	福田　新士

組織目標	・関係部署との調整を行いながら汚水処理区域の見直しを検討し、方針を取りまとめます。 ・汚水・雨水処理施設の長寿命化計画に基づき施設の長寿命化を推進します。 ・ゲリラ豪雨、異常気象による浸水被害の軽減に向けて、関係部署と連携を行い、災害に強いインフラ整備を進めます。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
下水道建設課①	**汚水処理区域の見直し** 建設部④	①具体的目標	・より効率的な汚水処理施設の整備・運営管理を適切な役割分担の下、計画的に実施していくため、公共下水道事業（国交省）、農業集落排水処理施設事業（農林水産省）、浄化槽設置事業（環境省：市町村設置型、個人設置型）で計画している各々の処理区域について、今後10年での各種汚水処理施設の既成を目処とした事業計画へ見直しを行い、取りまとめた方針を3月議会に報告する。	〇12月までに、国のマニュアルによる経済比較に加え、市民のニーズを把握し反映することで利害関係者や関係部署との調整を行い、市全域の汚水処理方法について方針を取りまとめる。 〇3月までに、県との調整を経て取りまとめた方針を議会（建設環境委員会）に報告する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	・事業計画の見直しは、県と役割分担を行い、共同にて実施する。 ・中期（10年程度）での早期整備と共に、長期（20～30年）での持続的な汚水処理システムの構築を行う。 ・整備・運営管理手法については、住民の意向などの地域のニーズを踏まえ、地域特性についても総合的に勘案したうえで選定する。							②課題・特記事項等	
下水道建設課②	**下水道施設の長寿命化** 建設部③	①具体的目標	①平成26～27年の2ヵ年で整備を行っている日奈久浜町ポンプ場の第一期改築更新工事を10月までに完了する。 ②中央ポンプ場の長寿命化計画を含めた整備方針を3月までに決定する。	①日奈久浜町ポンプ場第一期工事の完了 〇5月までに日奈久浜町ポンプ場の機械整備工事を完了させる。 〇10月までに電気設備工事を完了させる。 ②中央ポンプ場の整備方針策定 〇3月までに工事方法・総事業費など諸条件の確認を行い、事業実施に向けた方針を決定する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①受注者に工程管理の徹底を求め工期遵守を図る。 ②将来の費用負担に大きく関係するため、方針の決定においては、関係部局（財政課、下水道総務課、国、県）との協議を入念に行う必要がある。							②課題・特記事項等	

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
下水道建設課③	**汚水整備の促進**	①具体的目標	①汚水整備を計画的に推進することで、市民の快適な生活環境の確保を図る。本年度の事業計画に従い、24.6haの面整備を図り、整備率を1.2%向上させる。 ②私道内における下水道の普及促進を図るため、3地区を抽出して説明会を実施する。 ③年間100件程度の申請がある公共桝設置工事について、申請者の要望時期に対して遅滞なく完成させる。	①計画的な汚水整備 〇9月までに工事の発注計画を綿密に立て、段階チェックをしながら事業費の70%以上の発注を行う。 ②私道内における下水道の普及促進 〇10月までに3地区を抽出して説明会を実施し、私道内における下水道整備に関する同意を促す。 ③公共桝設置工事における対応 〇3月までに申請者の要望に遅滞なく対応するため、包括発注の検討を行う。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①住民生活や交通環境への影響に配慮し同地区内での工事発注の集中を避ける必要がある。 想定と異なる土質条件や地下埋設物への対応に不測の期間を要することがあるため、発注時には余裕を持った工期を設定する必要がある。 ②私道内における下水道整備を行うためには、私道に面するすべての世帯から同意を得る必要がある。 ③公共桝設置工事は申請者の要望によっては早急な対応が求められる。							②課題・特記事項等	
下水道建設課④	**汚水処理施設の安全な稼動** 建設部③	①具体的目標	①水処理センター放流水質について、法規制値を遵守する。 ②非常時を想定し、職員でも水処理センター及び中継ポンプ場の運転操作が行えるようにする。 ③予防保全の観点から、水処理センター・中継ポンプ場の日常点検を踏まえた補修計画を策定する。	①水処理センター放流水質の法規制値の遵守 〇11月までに過去の放流水質を取りまとめた管理基準値案を作成する。 〇3月までに実績とともに八代市HPでデータを公表する。 ②水処理センター・中継ポンプ場の運転操作研修の実施 〇9月までに水処理センター・中継ポンプ場の2施設を対象とした運転管理委託者による操作研修を1回実施する。 〇9月までに非常時に職員でも施設を操作できる体制を作る。 ③水処理センター・中継ポンプ場の補修計画策定 〇10月までに日常点検を踏まえた補修箇所の優先順位を運転管理委託者と協議を行いながら決定する。 〇10月までに優先順位の決定を基に補修箇所の予算要求を行う。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①汚水は微生物による処理を行うため、季節の変動や施設の条件により水質が悪化しやすく、慎重な管理が求められる。 ②身に着けた技術を定着させる工夫が求められる。 ③限りある予算を有効に使用するためには、あらかじめ補修箇所の優先順位を決定しておく必要がある。							②課題・特記事項等	
下水道建設課⑤	**雨水整備の促進** 建設部③	①具体的目標	①短期的な雨水対策 年度当初に関係課と対策会議を開催して役割の確認を行い、雨季対策を実施する。 ②中長期的な雨水対策 3月までに浸水被害が著しい田中町の浸水被害軽減対策として北部中央公園の地下に計画する雨水調整池の国庫事業採択を取得する。	①短期的な雨水対策 〇5月中に土木課、農地整備課と合同で対策会議を行う。 〇6月までに上流における浸水被害が顕著な新開松江雨水幹線及び宮地都市下水路で堆積土砂の撤去を完了する。 〇市街地の浸水状況については、パトロールを行って状況を記録し、県を通じて国に報告する。 ②中長期的な雨水対策 〇5月までに県や国と協議を行い、事業採択に向けた方針を固める。 〇10月までに計画策定に必要な協議や調整を終えて計画策定を行う。 〇3月までに国から事業採択を得る。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①限られた人材のなかで浸水状況を把握するためには他課との連携が必要である。 ②事業採択のためには国・県やその他関係機関と十分な協議を行なう必要がある。							②課題・特記事項等	

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
下水道建設課⑥	**雨水排水施設の安全な稼動** 建設部③	①具体的目標	①2月までに雨水排水施設について、補修部品調達が困難なものをリストアップし、調達期間・費用に関する情報を収集する。 ②非常時を想定し、職員でも雨水ポンプ場の運転操作が行えるようにする。	①雨水排水施設の補修計画 〇7月までに雨水排水施設における調達困難部品リストを作成する。 〇2月までに調達期間・費用に関する情報をとりまとめる。 ②雨水ポンプ場の運転操作研修の実施 〇雨水ポンプ場の運転操作に関する研修を5月と6月に1回ずつ計2回行う。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①老朽化が進む施設においては補修部品の調達が困難な設備がある。 ②身に着けた技術を定着させる工夫が求められる。							②課題・特記事項等	
下水道建設課⑦	**災害に強い組織づくり**	①具体的目標	大規模地震発災後における対応力を向上させ、従来よりも速やかにかつ高いレベルで下水道が果たすべき機能を維持・回復させることを目的として策定している下水道BCP（業務継続計画）を用いた職員訓練を8月に実施する。	〇4月中に新体制で計画内容を確認する。 〇7月までに訓練に向けたシナリオを検討し、準備する。 〇8月に下水道BCPの訓練を行う。 〇3月までに訓練結果について考察を行い、下水道BCPへの反映を行う。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	訓練は下水道総務課との共同で行うこととなることから、開催に当たっては十分な調整が必要となる。							②課題・特記事項等	